

2024年3月期 第2四半期 決算説明会資料

2023年4月1日～2023年9月30日



株式会社マンドム
(証券コード 4917)



目次

1. 2024年3月期 第2四半期決算
 2. 2024年3月期 第2四半期 事業推進概況
 3. 2024年3月期 下期取組事項
 4. 2024年3月期 業績予想
- ◆ 参考資料

2024年3月期 第2四半期 決算サマリー

・売上高 37,133百万円

連結では13.7%の増収、期首計画を上回る

国内外ともに社会経済活動は回復局面へ移行し、海外その他は+36.8%の増収で21/3月期を上回る
一方で、日本は+6.0%、インドネシアは+7.9%の増収

・営業利益 1,645百万円

営業利益は58.4%の増益、同じく期首計画を上回る

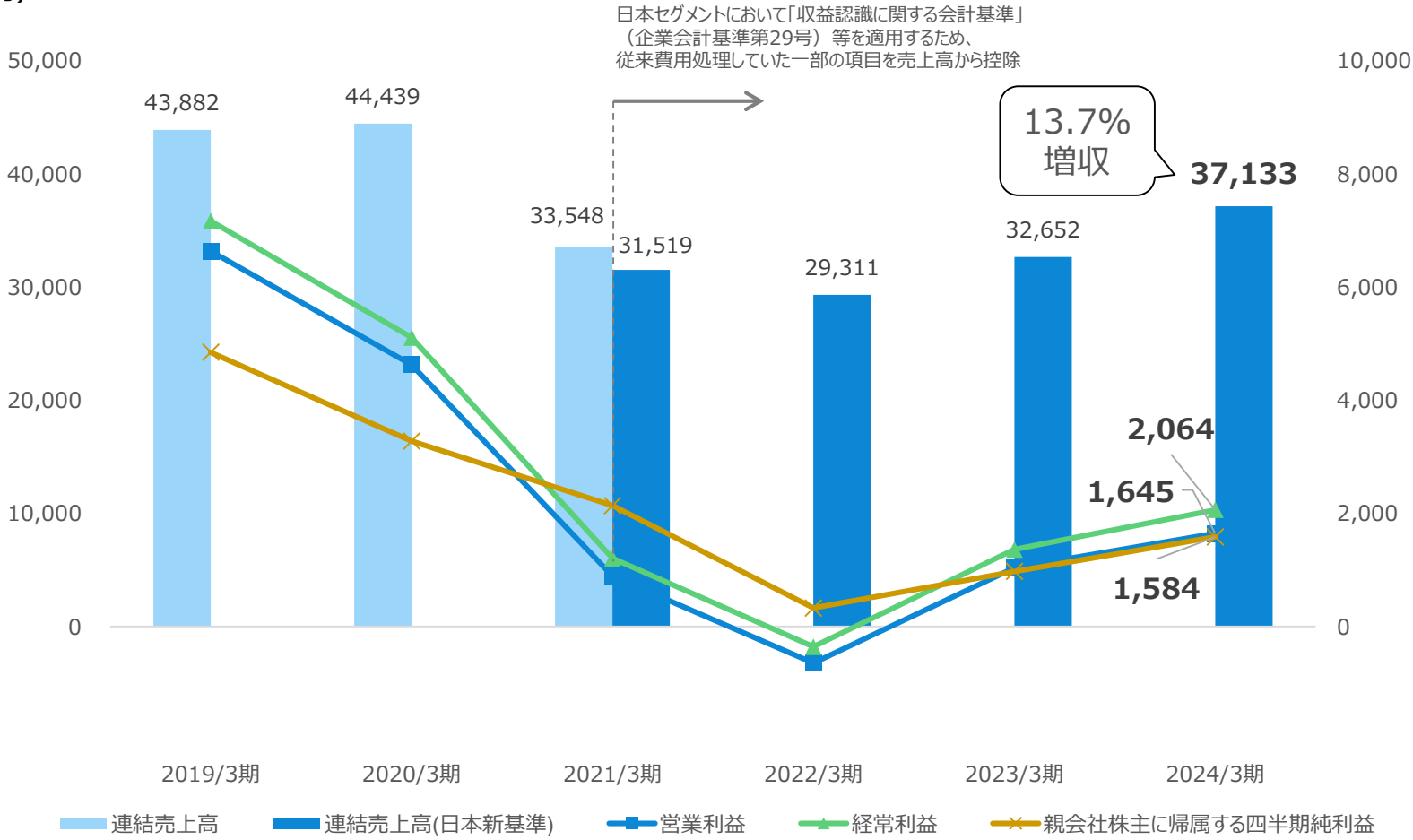
- ・海外その他の増収効果で連結は大幅増益
- ・日本は期首計画外の広告宣伝費の投下と原価率上昇により減益
- ・インドネシアは7億円強の損失
- ・海外その他が+174.9%の増益と引き続き牽引

1. 2024年3月期 第2四半期決算



1)各所在地とも増収で連結売上高は13.7%の増収 連結では58.4%の増益

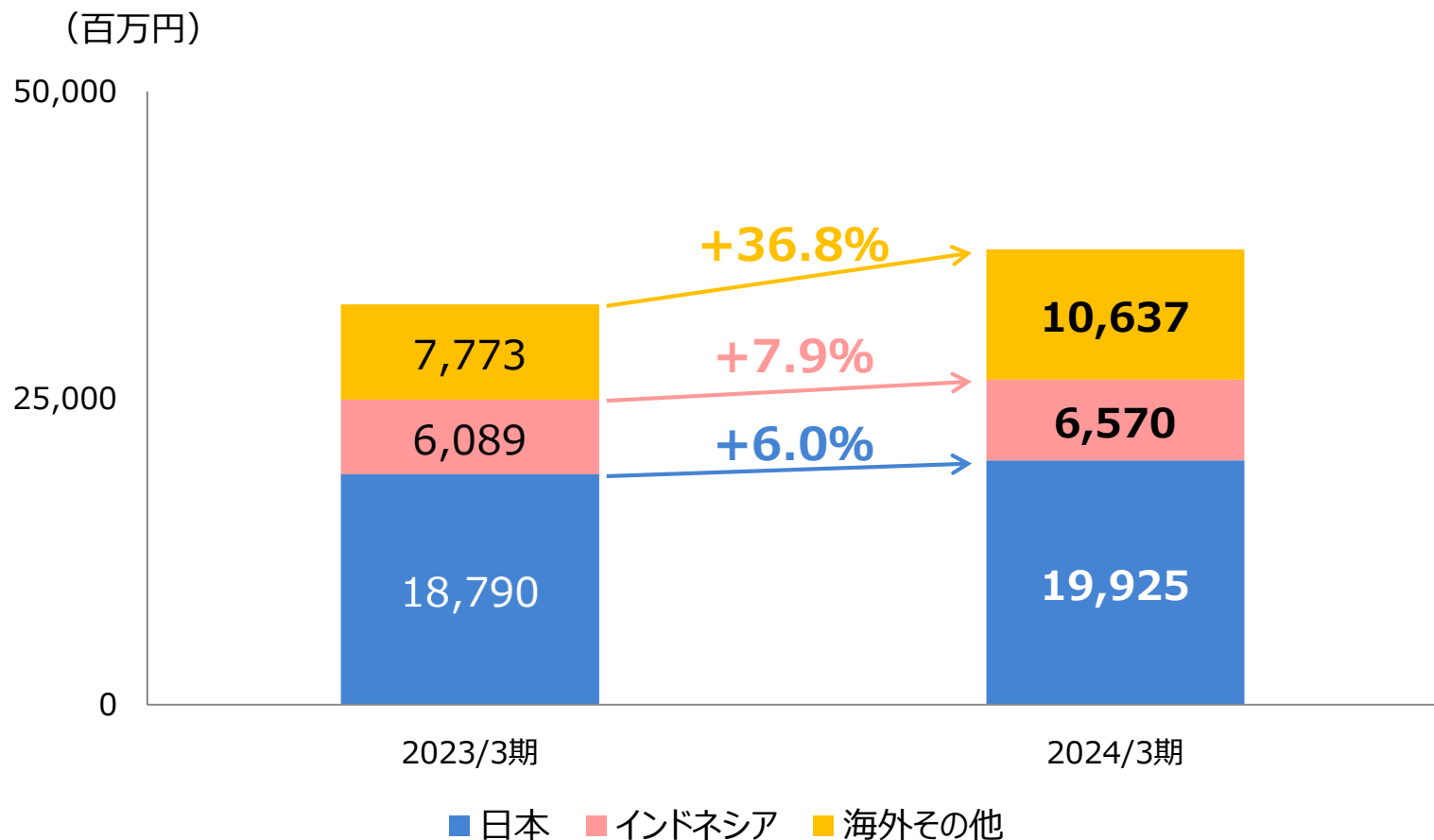
(百万円)





1)各所在地とも増収 海外その他は引き続き力強く増収

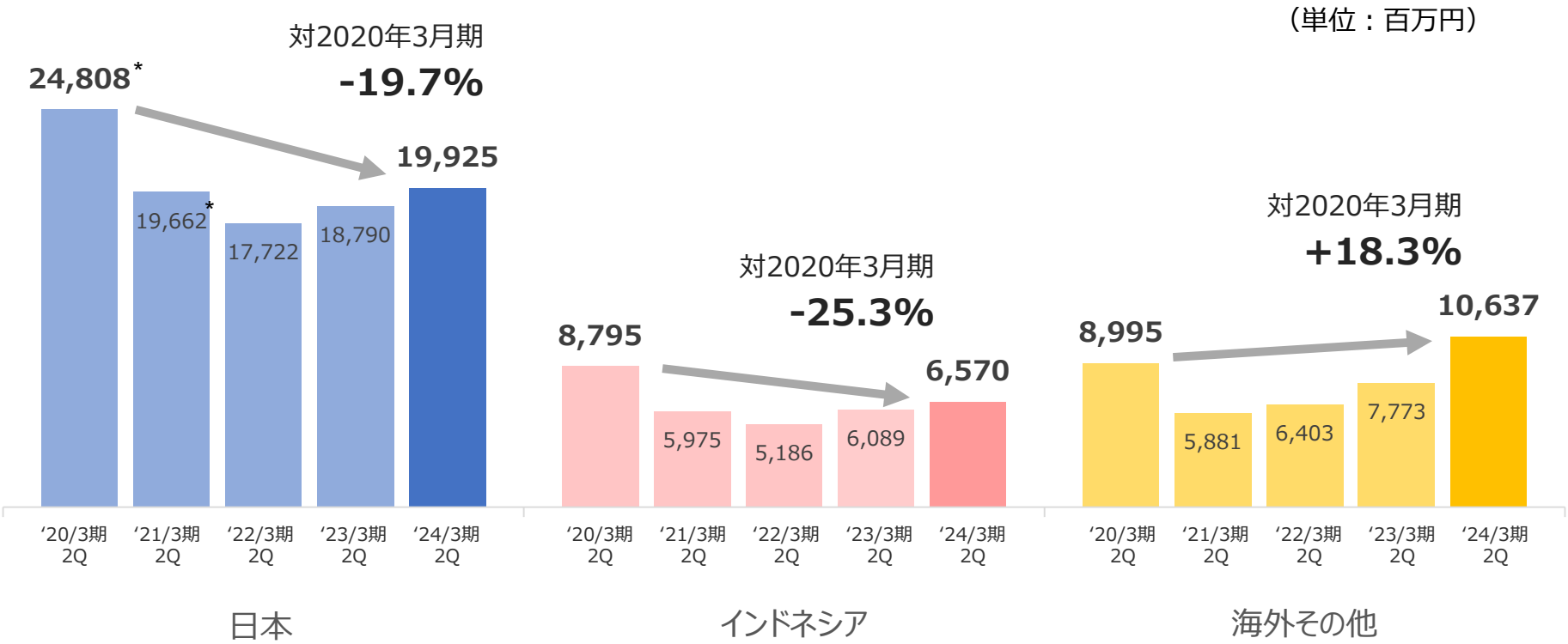
・日本は猛暑による夏シーズン品の売上拡大があったものの、+6.0%





1)海外その他は既にコロナ前の20/3月期を上回るものの
日本及びインドネシアは、依然コロナ前水準には20%前後下回っている

・海外その他は東南アジア各国が好調で前期より28億円強の増収

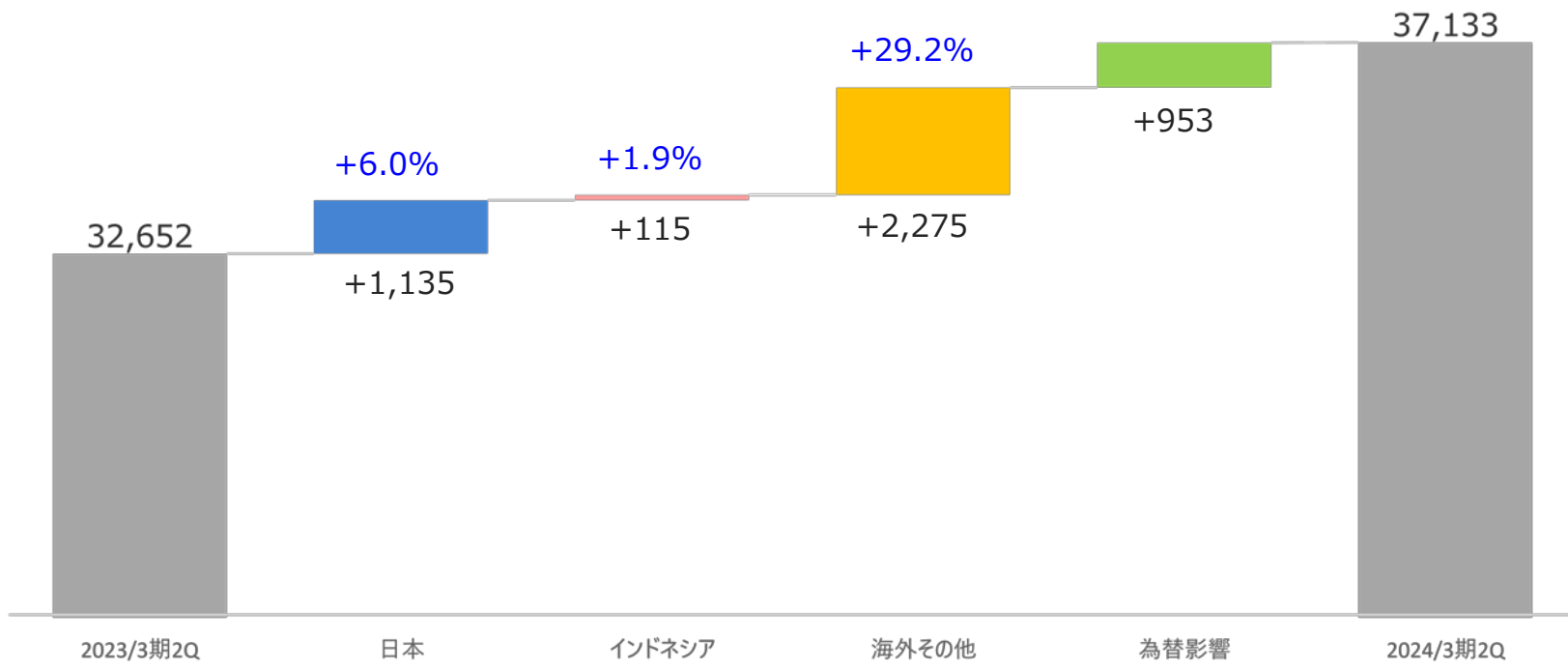


* 日本セグメントの2020/3期および2021/3期は「収益認識に関する会計基準」(企業会計基準第29号)換算値



1)海外その他が大幅増収とともに為替によるプラス影響もあり売上を牽引
日本は猛暑影響もあり増収、インドネシアは成長停滞

(単位：百万円)

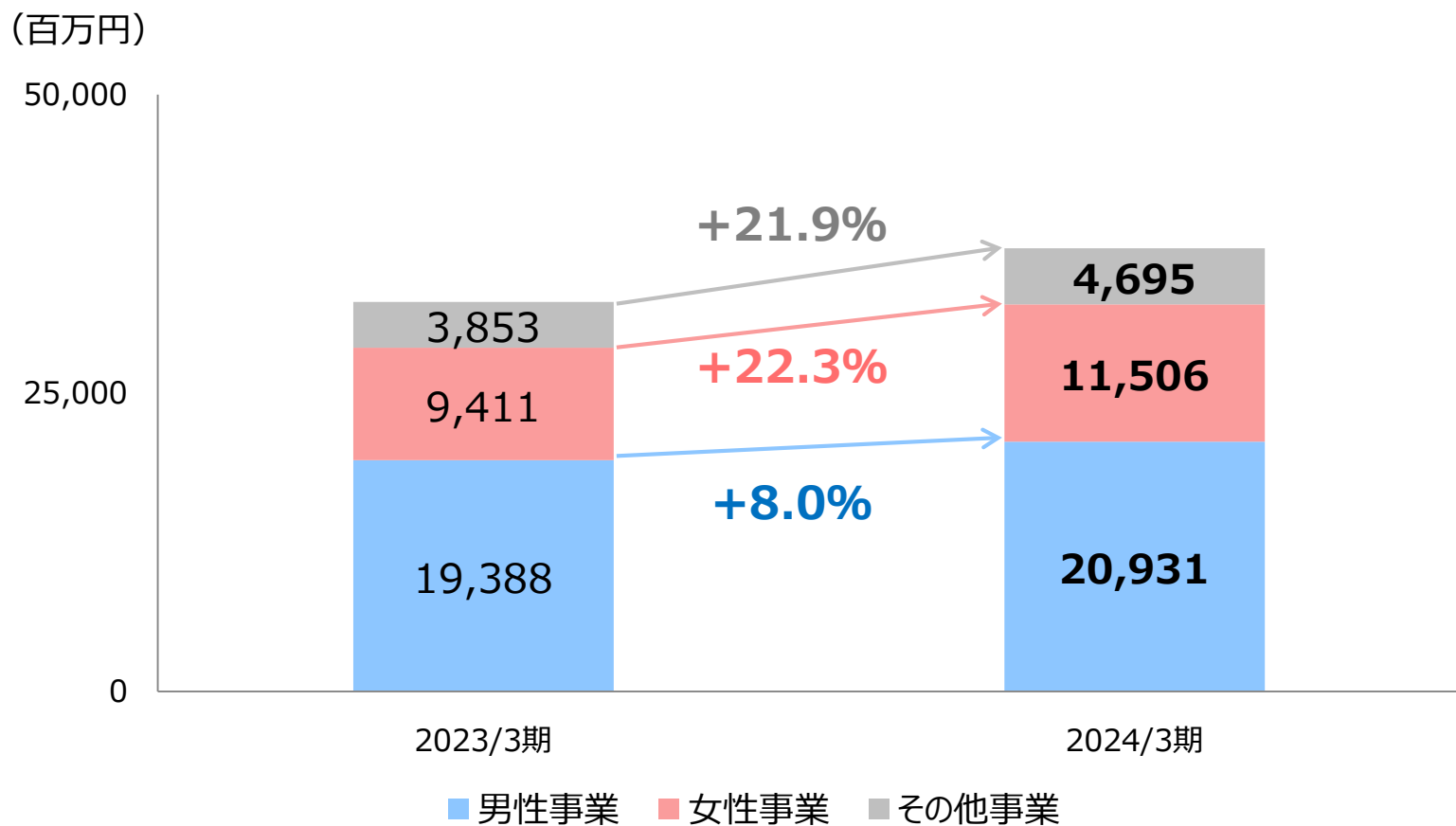


* インドネシア及び海外その他セグメントは前期レート換算値



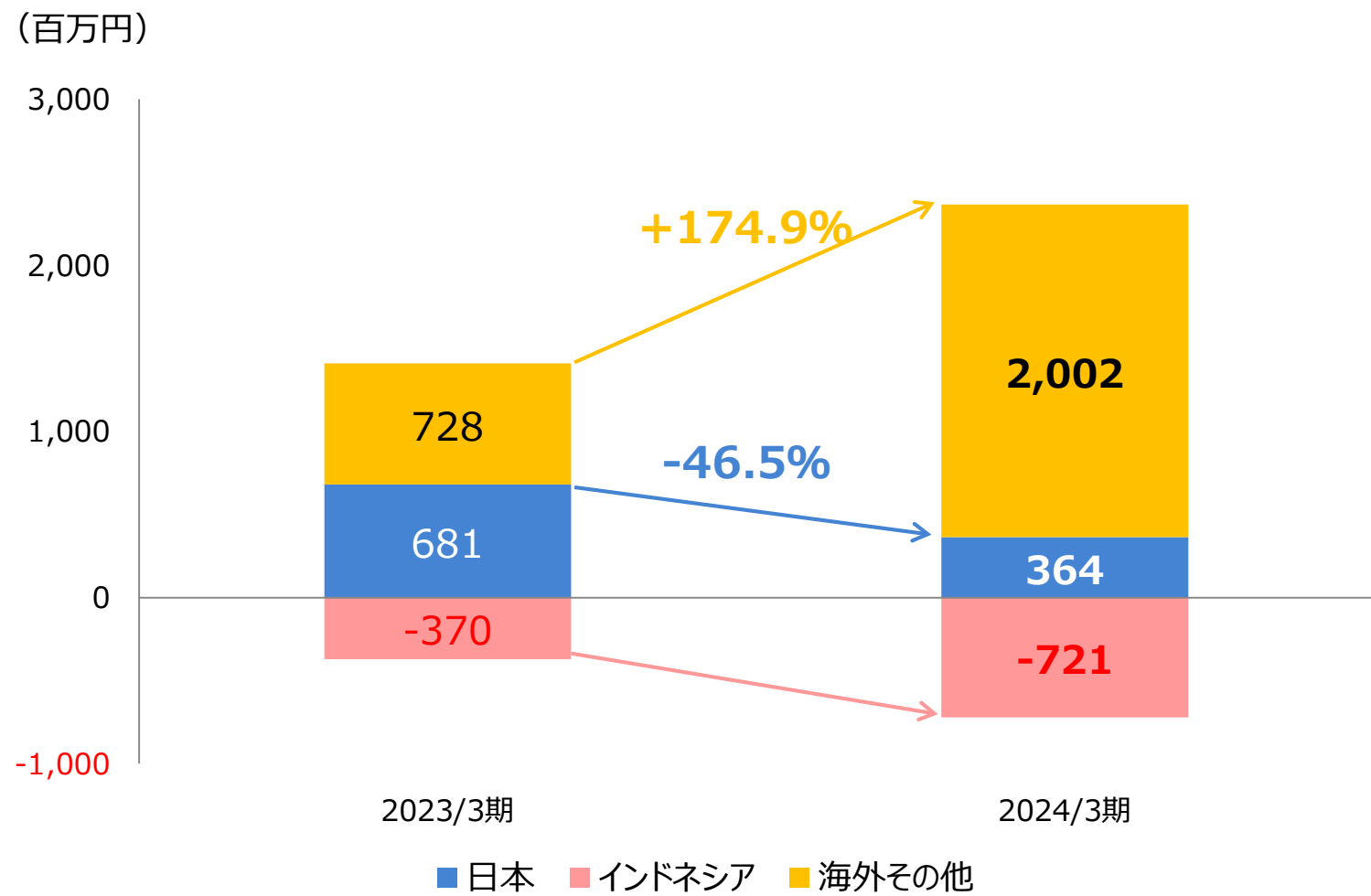
1)日本の夏シーズン品に加え、女性事業が国内外ともに大幅伸長

- ・日本の猛暑影響で夏シーズン品（フェイス、ボディケア）が伸長
- ・国内外ともに、女性のメイク機会回復に伴いビフェスタ、シルキーガールが大幅伸長



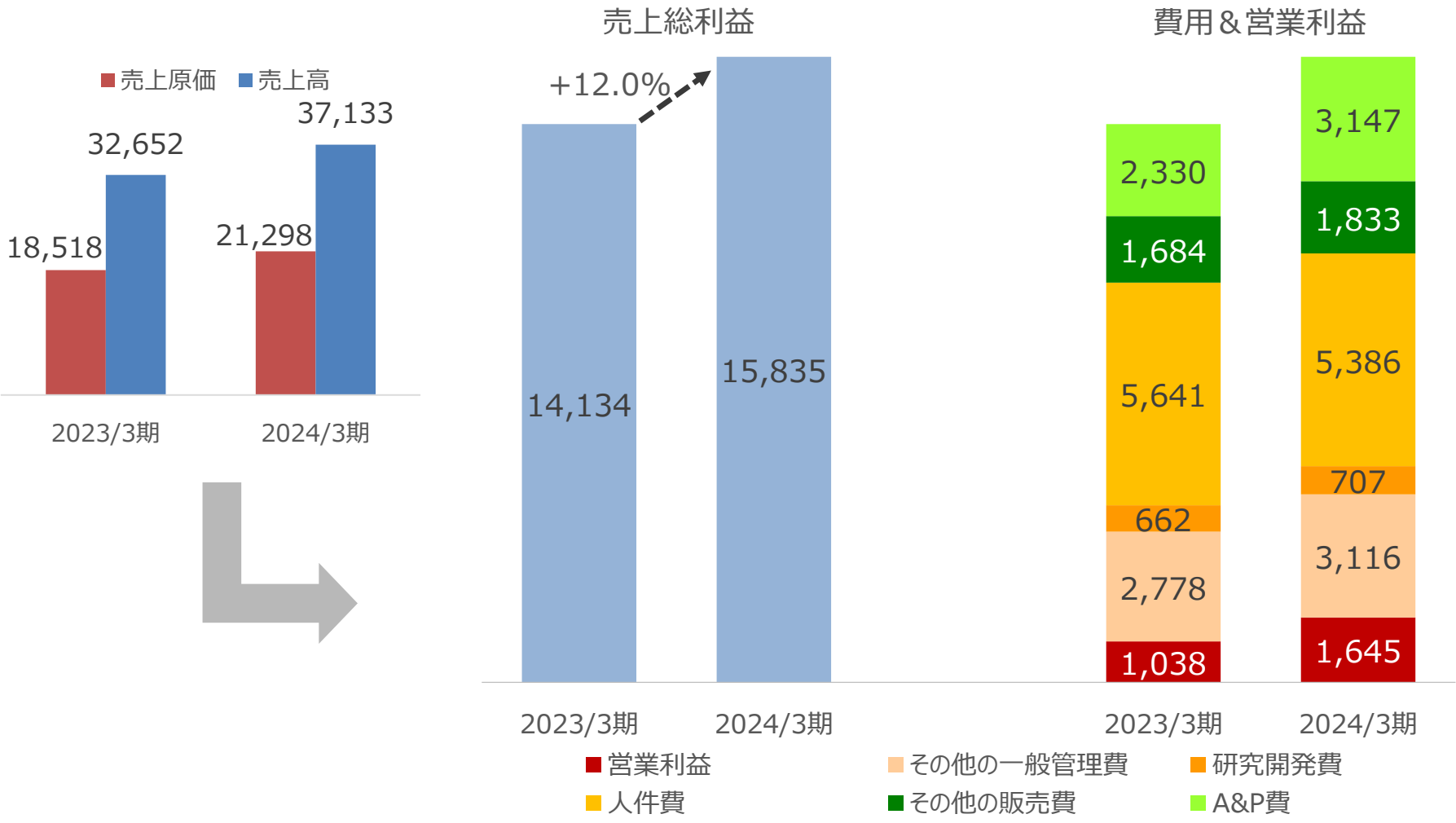
2) インドネシアの営業損失が拡大したが、海外その他がカバーして増益

・インドネシアは、7億2千万円に営業損失が拡大、日本も期首計画を下回って減益





3) 増収によって原材料高は吸収、A&P費は1Q日本における追加投入分が上ブレ ・連結ではA&P費用8億円強増加したものの、16億円の営業利益に



2. 2024年3月期 第2四半期事業推進概況

第33回国際化粧品技術者会連盟（IFSCC） バルセロナ大会2023でポスター部門「最優秀賞」を初受賞

・2023年9月にスペイン・バルセロナで開催された、世界最大級の化粧品技術の研究発表会である

「IFSCC（国際化粧品技術者会連盟）学術大会/バルセロナ大会2023」において、マンダムと大阪大学の共同研究テーマの

「次世代の制汗技術：ヒトエクリン汗腺の収縮を制御」がポスター部門にて、373件の中から頂点に輝く「最優秀賞」を受賞しました



対象テーマの研究概要

史上初の技術！

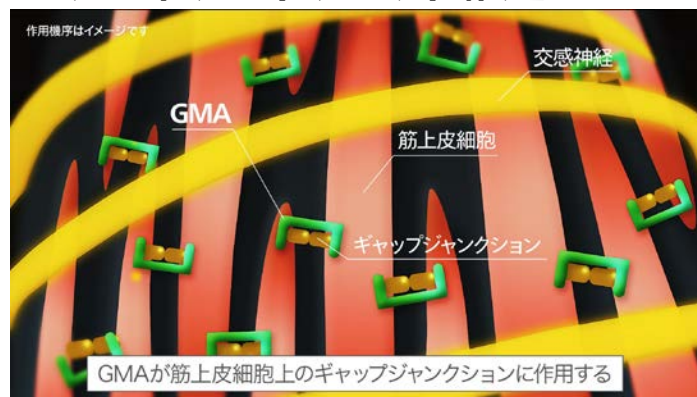
植物由来成分 **GMA** が



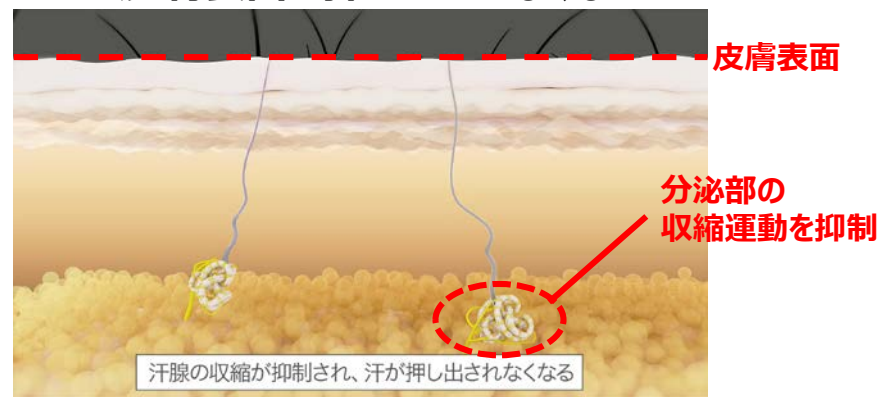
汗腺の根本に作用して、分泌部を休眠

根本から汗の量を減らす

■ 汗腺の細胞に作用し、収縮運動を抑制

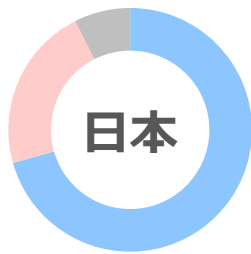


■ 汗が皮膚表面に押し出されなくなる



ブランド別事業推進状況

売上高事業別構成比



- ・ギャツビーは、夏シーズン品の前期末での先行出荷が大きかったものの、猛暑効果もあり健闘
- ・ビフェスタは、化粧機会の増加や限定品などの効果もあり、大幅増収

主要ブランドの状況

男性事業	女性事業
 	 
 	 

男性事業

売上高事業別構成比

GATSBY

男性フェイス、ボディ（夏シーズン品）



・市場動向

フェイスクア 微増、ボディケア大幅伸長

⇒ 昨年6月の猛暑のハードルは高かったものの、7月、8月の猛暑で市場拡大

・当社動向

フェイスクアは、市場を上回り伸長するもフェイシャルペーパー離れもあり、微増

ボディケアは、市場を上回り大幅伸長 シェア50%以上

ギャツビー メタラバー

TV-CM投下に伴い、店頭においても大規模な
プロモーション展開を実施

まだまだ育成段階であり、引き続きZ世代への
アプローチを強化



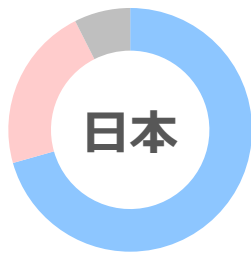
■ ギャツビー メタラバーシリーズ

男性事業

LÚCIDO

堅調なスキンケアシリーズの全面リニューアル実施
ブランドアンバサダーにオダギリジョーさんを起用し、
ブランドコミュニケーションを強化

売上高事業別構成比



フェイスクアにおいて、市場は微増する一方、
昨年発売の高機能スキンクリーム「ルシード 薬用パーフェクトスキンクリームEX」を
中心に好調に実績伸長し、シェア拡大
8月にスキンケアシリーズを全面リニューアルし、更なる取り組み強化を実施

2. 2024年3月期 第2四半期 事業推進の概況

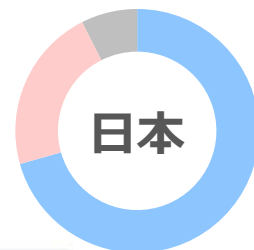
女性事業



メイク機会の回復や限定品の発売等によりクレンジングシートが大幅伸長、好調な泡洗顔のラインナップの拡充などもあり、ブランド全体としても大幅伸長

- ビフェスタ ミセラークレンジングシート パーフェクトグロウ

売上高事業別構成比



LÚCIDO-L

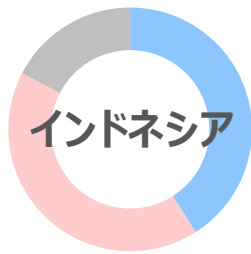
競争環境が激しいヘアオイル市場に対し、「ヘアオイルシリーズ」を刷新話題の「質感再整シリーズ」からシャンプー&トリートメントを発売するなどヘアケアカテゴリーの強化を実施

- ルシードエル ヘアオイルシリーズ



ブランド別事業推進状況

売上高事業別構成比



- ・男性事業は、インドネシアにおける消費低迷の影響により成長鈍化
- ・女性事業は新製品の投下もあり伸長

主要ブランドの状況 (連結ベース)

男性事業	女性事業
<p>GATSBY →</p>	<p>PIXY My Beauty, My Energy →</p>
	<p>PUCELLE →</p>

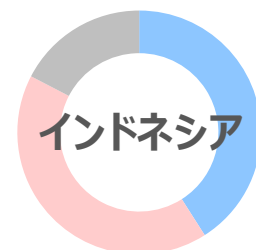
2. 2024年3月期 第2四半期 事業推進の概況

男性事業

GATSBY

- ・コロナで発売を延期していた、新スタイリングシリーズ「THE NATURE STYLING BALM Series」を発売

売上高事業別構成比



■ GATSBY THE NATURE STYLING BALM Series

女性事業

- ・PUCELLEとLovilleaより新製品を相次いで発売し、フレグランスカテゴリーにおける提案を強化



■ PUCELL



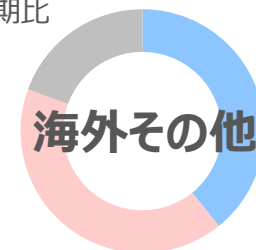
■ Lovillea

2. 2024年3月期 第2四半期 事業推進の概況

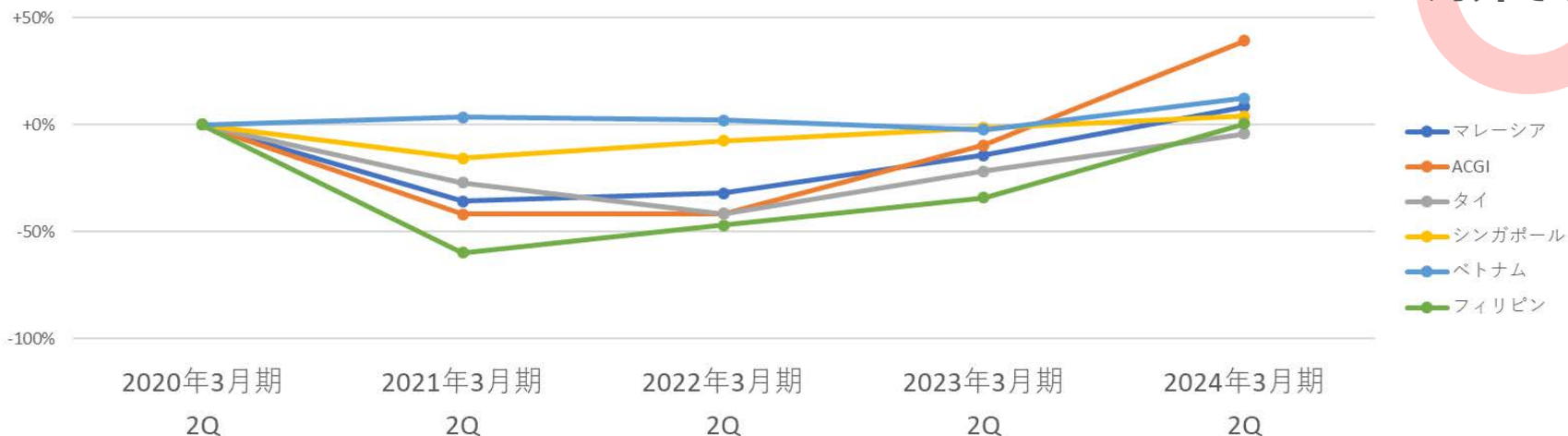
海外その他 国別 四半期別トレンド

売上高事業別構成比

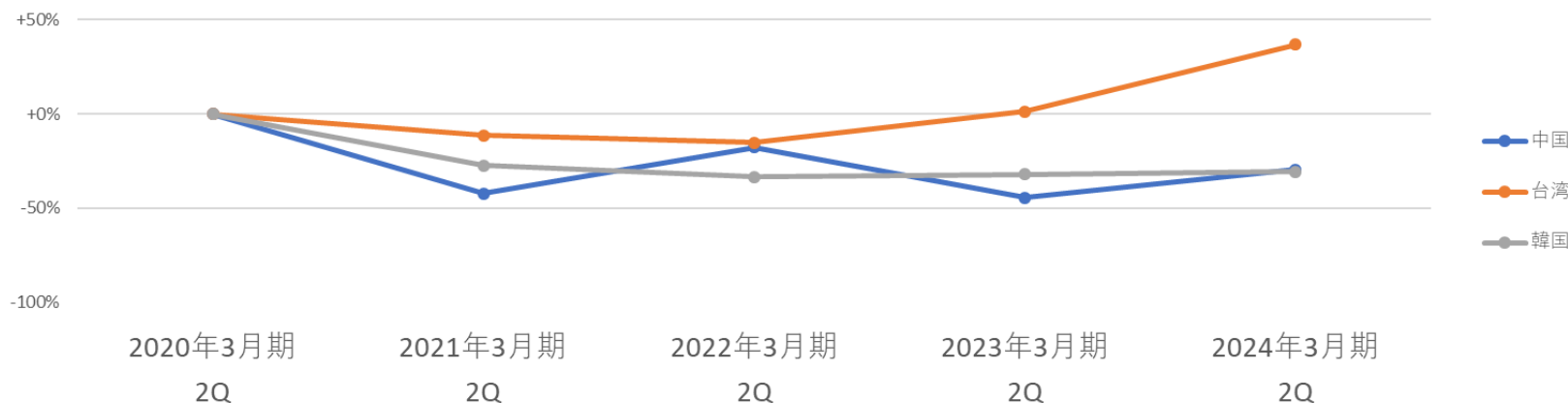
※現地通貨ベース;2020年3月期比



・東南アジア



・東アジア



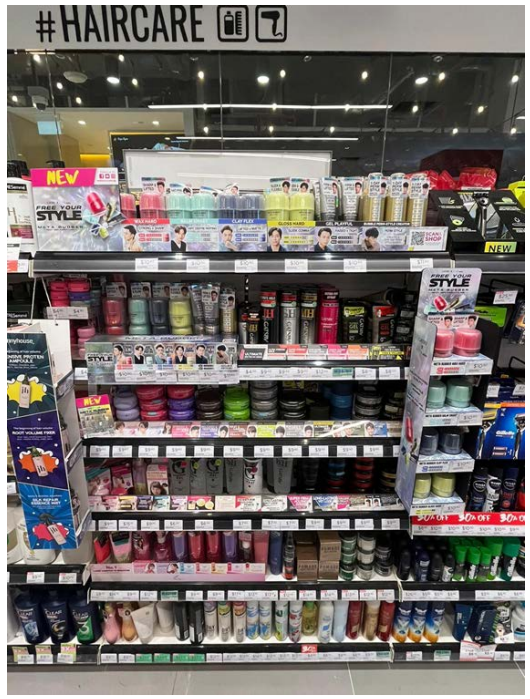
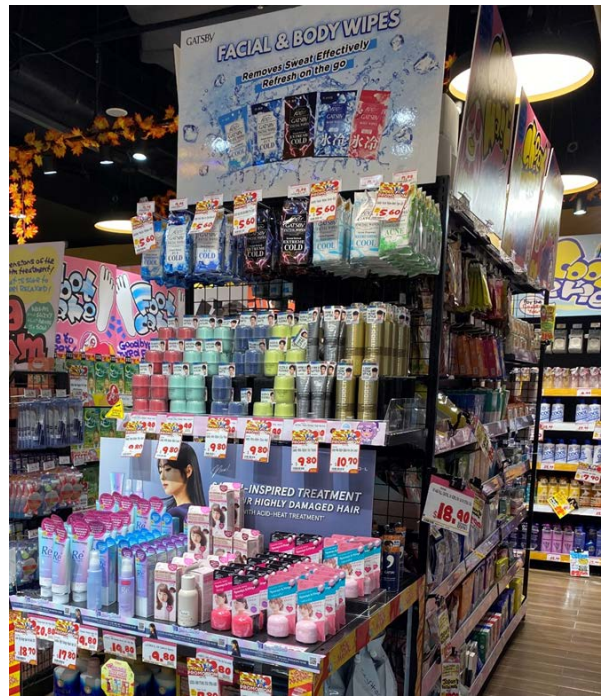
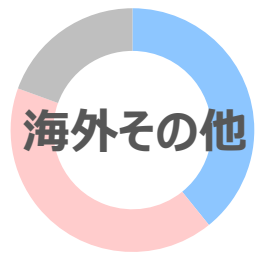


男性事業

GATSBY

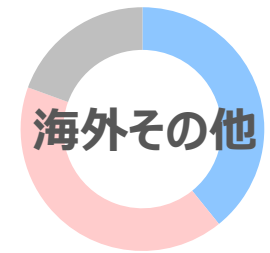
「メタラバー」 アジア各国でも展開、強化中

売上高事業別構成比



男 性 事 業

売上高事業別構成比



日系小売業海外進出への取組み強化

近年、日系大手小売業のマレーシア、シンガポール、タイ等への東南アジアを中心としたエリアへの進出が加速

日本国内で構築してきた関係性を活かし、現地での展開においても協力体制を強化

3. 2024年3月期 下期取組事項

3. 2024年3月期 下期取組事項

1. ヤング男性、ミドル男性 それぞれに対するスキンケア製品強化

- ・ルシードにおいて、スキンケアシリーズをリニューアル
CMなどの積極的なプロモーションを展開
男性の加齢悩みに寄り添った提案を実施

■ ルシード スキンケアシリーズ



- ・ギャツビーにおいて、昨年のリニューアル後好調な
「薬用スキンケアシリーズ」を継続強化
シートマスクやクレンジングバームなども発売し、
スキンケアラインナップを強化



■ ギャツビー 毛穴ケアシリーズ



2. マス流通のシャンプー・トリートメントカテゴリーにおいて “酸熱ケア”という新たなジャンルを創造

- ・昨年発売した、酸熱トリートメント成分*を配合した
サロン技術発想の「ルシードエル 質感再整トリートメント シリーズ」から、
シャンプー&トリートメントを追加発売

*レブリン酸（毛髪補修）

これによりマス流通のヘアケアカテゴリーに本格参入し、
酸熱ケアの更なる認知拡大と市場育成に取り組む

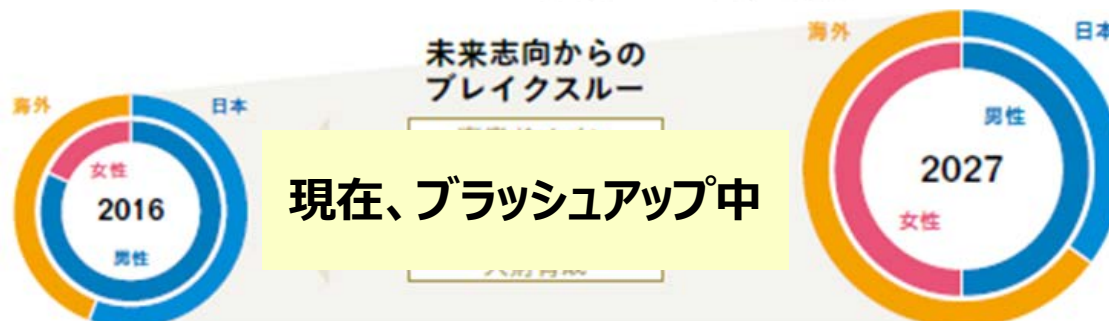


創業100周年にあたる2027年度が最終年度



※成長イメージ

「VISION2027」実現のための変革・挑戦期



◆資本コストなどを意識した経営について

東証より要請のある「資本コストや株価を意識した経営の実現に向けた対応」につきましては、現在取り組み内容を検討中であり、新中期経営計画を発表する2024年5月での開示を予定しております

4. 2024年3月期 業績予想

4. 2024年3月期 業績予想

2024年3月期 連結業績見通し

(単位：百万円)

	上期実績			下期見通				通期見通		
	実績	計画	乖離額	修正見通*	当初計画	乖離額	同期増減率	修正見通	当初計画	乖離額
売上高	37,133	35,500	1,633	35,566	35,500	66	+8.9%	72,700	71,000	1,700
営業利益	1,645	1,420	225	-185	680	-865	-	1,460	2,100	-640
経常利益	2,064	1,750	314	215	840	-624	-84.1%	2,280	2,590	-310
親会社株主に帰属する 四半期純利益	1,584	1,300	284	75	360	-284	-92.2%	1,660	1,660	0

* 通期業績見通しから上期実績を除いた数値

2024年3月期 連結業績見通し

- ・売上高を上方修正するも、各段階利益は下方修正
- ・日本は通期で下方修正するも、下期は当初計画通り
- ・インドネシアは消費回復のスピードが鈍く、売上高、利益とも下ブレ

【売上高 下期見通し与件】

- +) ・東南アジアでの売上拡大
-) ・インドネシア及び中国の不透明な消費動向と鈍い売上回復
- +) ・為替(円安)影響による連結売上高の円換算額増

2024年3月期 連結営業利益見通し

【営業利益 下期見通し与件】

- +) ・日本における製品ミックス改善による原価率の改善
-) ・インドネシアの売上下振れに伴う赤字拡大
-) ・海外その他における来期に向けたマーケティング費用の追加投資
- +) ・為替(円安)影響による連結営業利益の円換算額増

【リスク】

- ・日本での物価高騰影響による化粧品・日用品の需要低迷
- ・国内外で原材料価格、輸送費が想定以上に高騰
- ・想定以上のインドネシア為替（円安）影響による営業損失額の拡大

2024年3月期 第2四半期 決算説明会 参考資料

2023年4月1日~2023年9月30日

目次

1. 2024年3月期第2四半期 連結業績概要

2. 連結売上高

3. 連結段階利益

◆ 参考資料

1. 2024年3月期第2四半期 連結業績概要



(単位：百万円)

	第 2 四 半 期		増減額	増減率	前期レートを 増減率
	2023/3期	2024/3期			
売上高	32,652	37,133	4,480	+13.7%	+10.8%
営業利益	1,038	1,645	606	+58.4%	-
経常利益	1,362	2,064	701	+51.5%	-
親会社株主に帰属する 四半期純利益	974	1,584	609	+62.6%	-

EPS	21.66円	35.23円
-----	--------	--------

2. 連結売上高



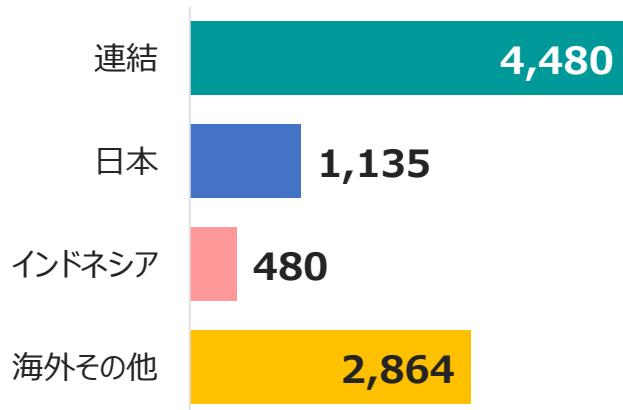
2-1. 所在地別売上高

(単位：百万円)

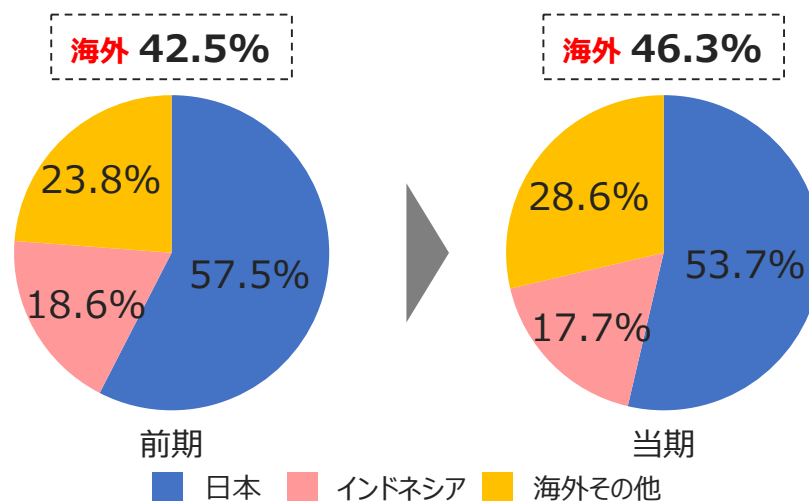
	第 2 四 半 期			
	2023/3期	2024/3期	増減額	増減率
売上高	32,652	37,133	4,480	+13.7%
日本	18,790	19,925	1,135	+6.0%
インドネシア	6,089	6,570	480	+7.9%
海外その他	7,773	10,637	2,864	+36.8%

2-2. 所在地別売上高 同期増減額内訳

(単位：百万円)



2-3. 所在地別売上高 同期構成比推移



※構成比は小数点以下第2位を四捨五入しているため、合計は必ずしも100とはならない

2. 連結売上高



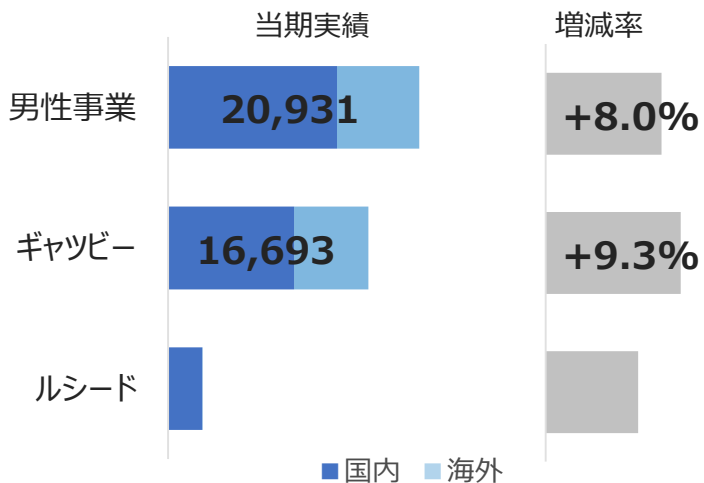
2-5. 事業別売上高

(単位：百万円)

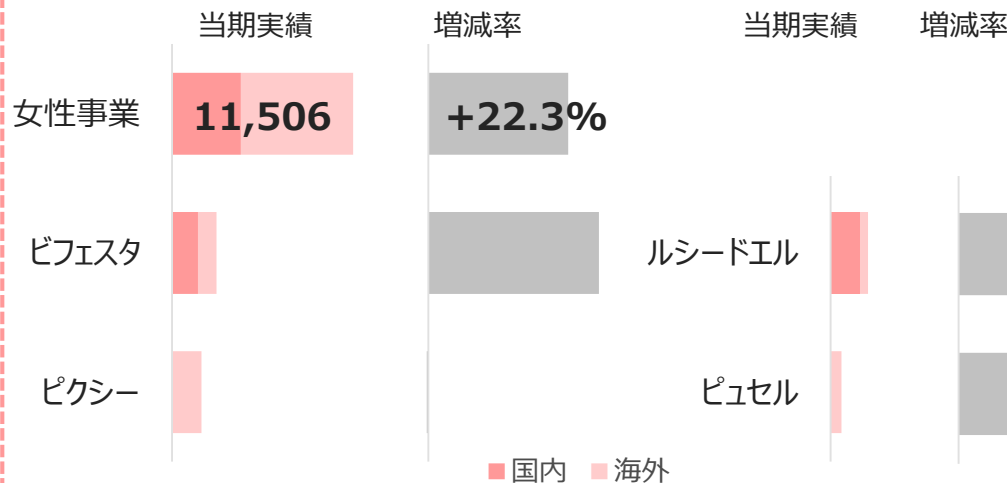
	第 2 四 半 期			
	2023/3期	2024/3期	増減額	増減率
売上高	32,652	37,133	4,480	+13.7%
男性事業	19,388	20,931	1,542	+8.0%
ギャツビー	15,274	16,693	1,418	+9.3%
女性事業	9,411	11,506	2,095	+22.3%
その他事業	3,853	4,695	842	+21.9%

※女性事業内訳：女性コスメティック 7,047百万円（増減率 +27.8%）/女性コスメタリー 4,458百万円（増減率 +14.5%）

男性事業



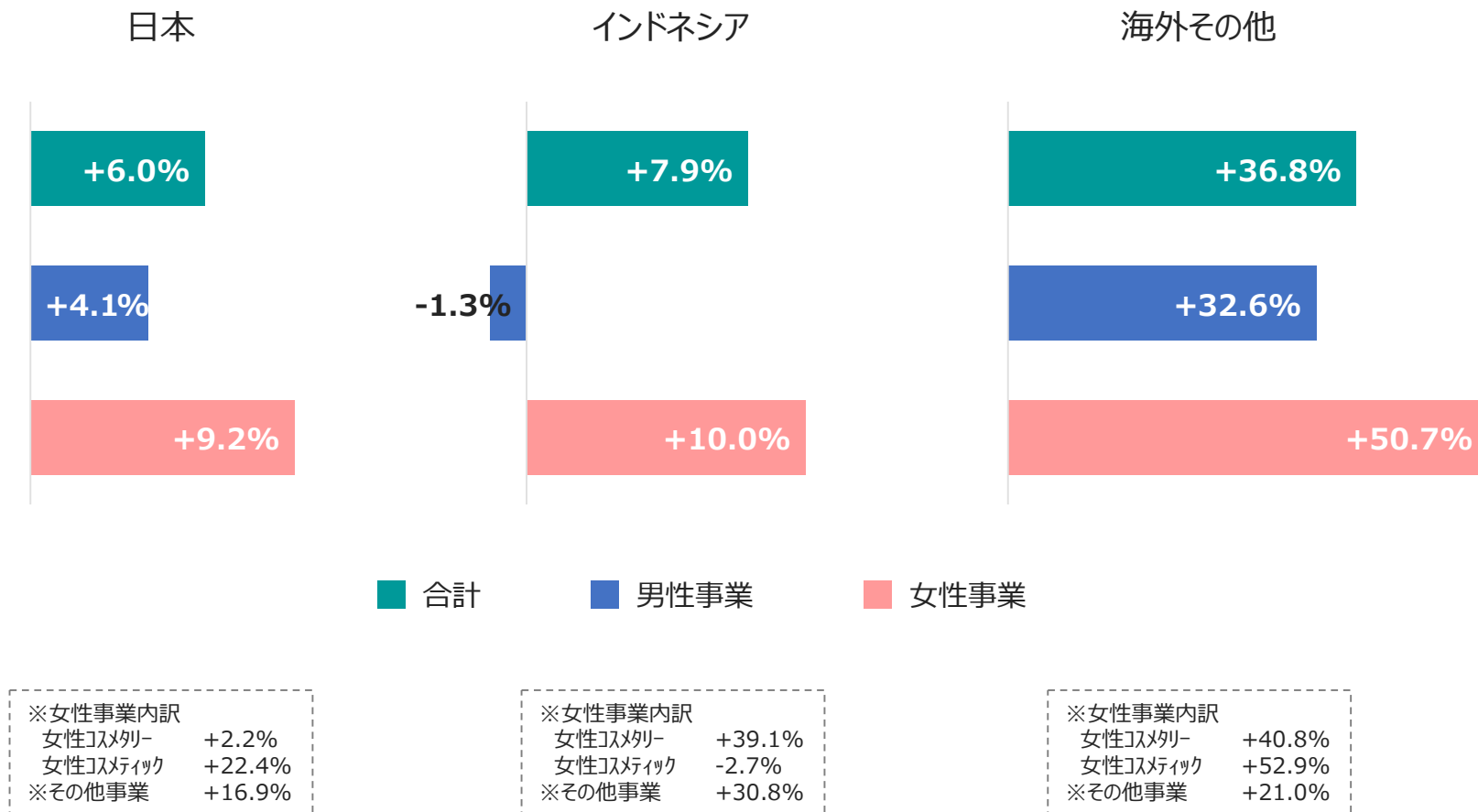
女性事業



2. 連結売上高



2-6. 所在地別事業別売上高 増減率



3. 連結段階利益



3-1. 所在地別営業利益

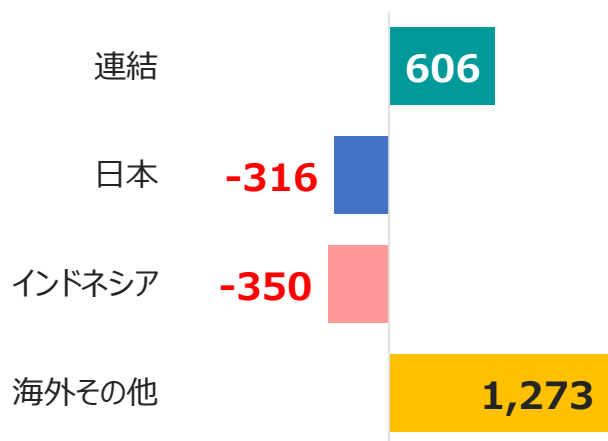
(単位：百万円)

	第 2 四 半 期					
	2023/3期		2024/3期		増減額	増減率
	実績	対売上高	実績	対売上高		
営業利益	1,038	3.2%	1,645	4.4%	606	+58.4%
日本	681	3.6%	364	1.8%	-316	-46.5%
インドネシア	-370	—	-721	—	-350	—
海外その他	728	9.4%	2,002	18.8%	1,273	+174.9%

3-2. 所在地別営業利益 同期増減額内訳

(単位：百万円)

3-3. 所在地別営業利益 同期構成比推移



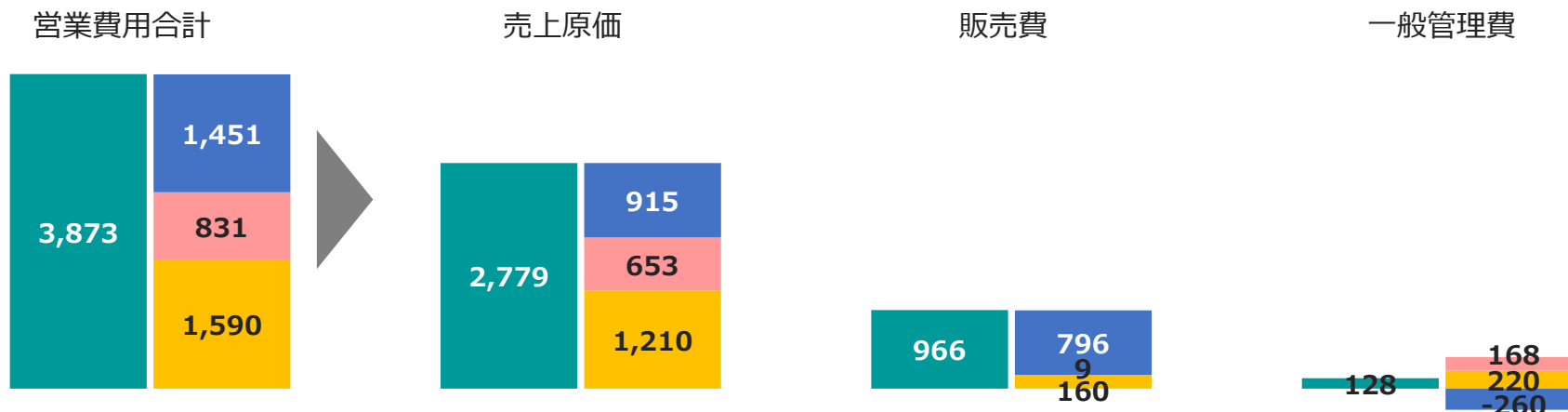
インドネシアが営業損失のため未記載

3. 連結段階利益



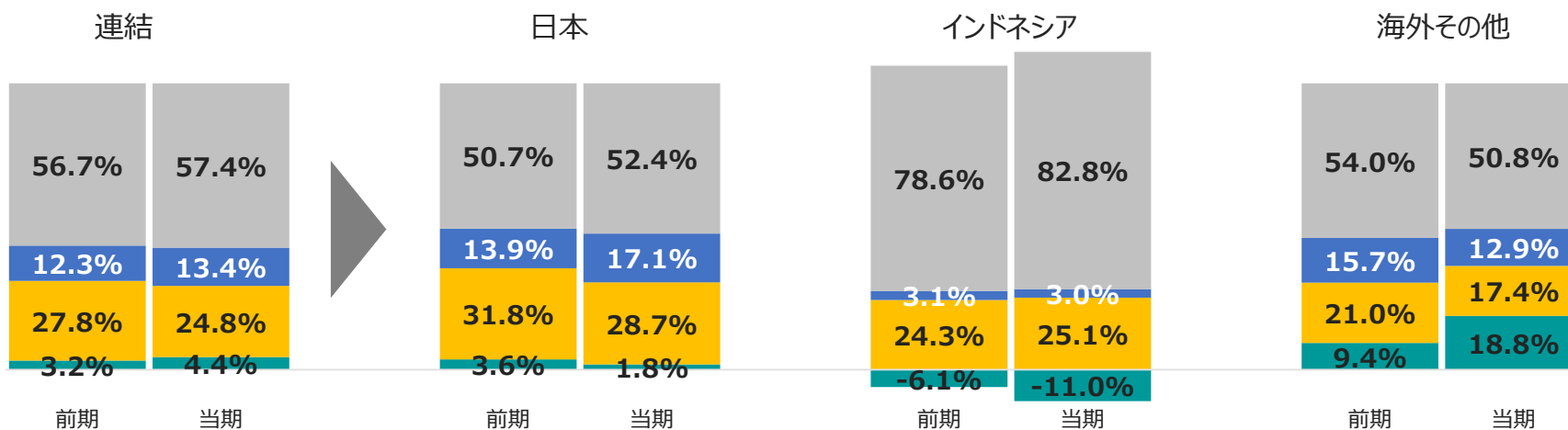
3-4. 営業費用実績 同期増減額内訳 (単位：百万円)

■ 連結 ■ 日本 ■ インドネシア ■ 海外その他



3-5. 営業費用・営業利益 対売上高比率内訳

■ 売上原価 ■ 販売費 ■ 一般管理費 ■ 営業利益

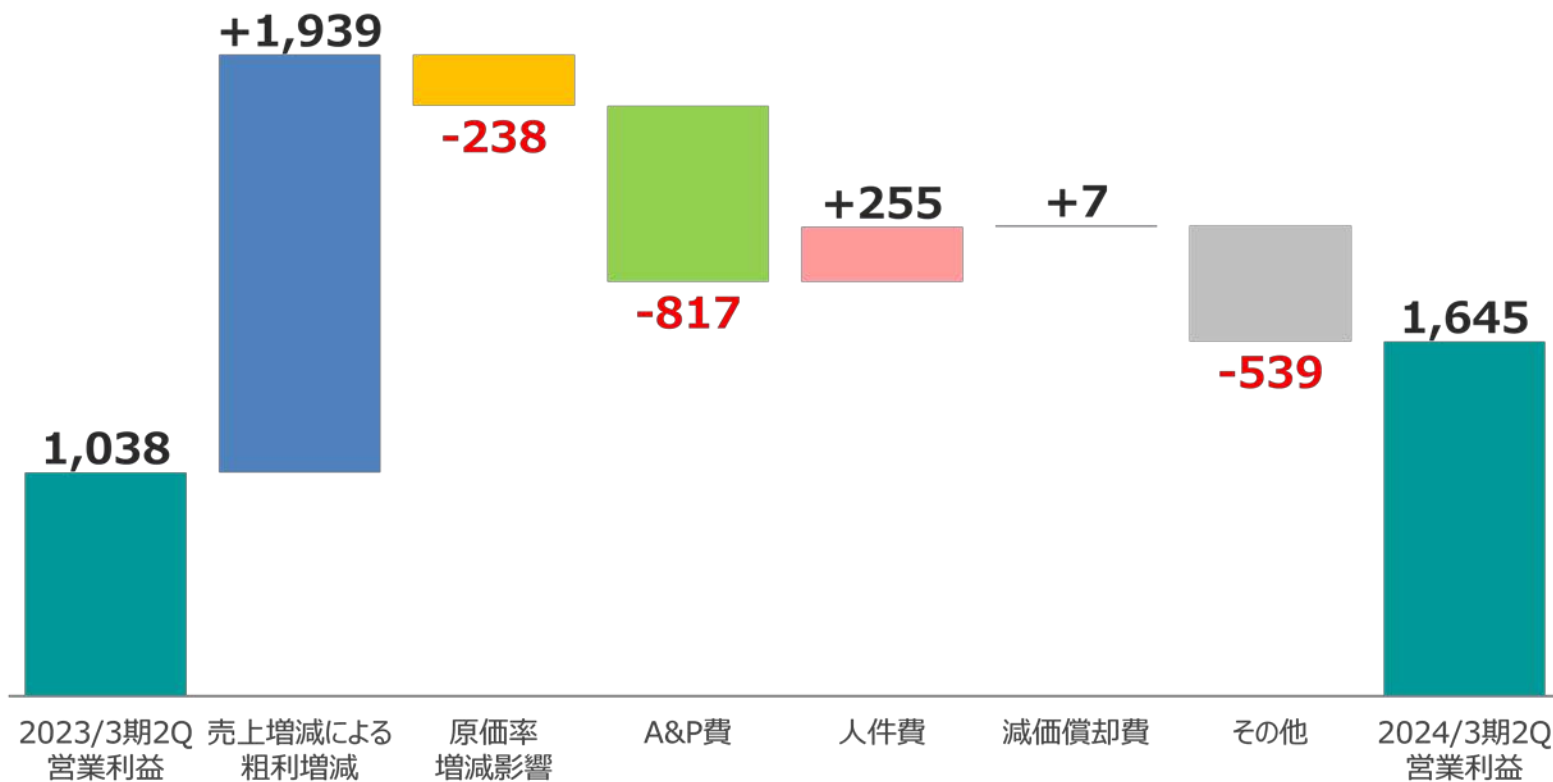


3. 連結段階利益



3-6. 営業利益増減分析

(単位：百万円)



3. 連結段階利益



3-7. 経常利益・親会社株主に帰属する四半期純利益

(単位：百万円)

	第 2 四 半 期			
	2023/3期	2024/3期	増減額	増減率
営業外損益	323	418	95	+29.5%
経常利益	1,362	2,064	701	+51.5%
特別損益	-37	211	248	-
税引前純利益	1,324	2,275	950	+71.8%
法人税等	372	716	344	+92.7%
四半期純利益	952	1,558	605	+63.6%
非支配株主に帰属する四半期純利益	-21	-25	-4	-
親会社株主に帰属する四半期純利益	974	1,584	609	+62.6%

3-8. 営業外損益・特別損益内訳 (単位：百万円)



2024年3月期第2四半期 Mandom単体及びPT Mandom Indonesia Tbk 損益計算書

株式会社マングム

(単位：百万円)

	2023/3期	2024/3期	増減額	増減率	2024/3期 業績予想
売上高	21,008	22,231	1,223	+5.8%	42,200
売上原価	11,569	12,681	1,112	+9.6%	-
(原価率)	55.1%	57.0%	+2.0P	-	-
販売費及び一般管理費	8,395	8,922	526	+6.3%	-
営業利益	1,043	627	-415	-39.8%	-
営業外損益	193	585	391	+202.9%	-
経常利益	1,236	1,213	-23	-1.9%	1,240
特別損益	-37	4	41	-	-
四半期純利益	861	967	106	+12.4%	990

原価償却実施額・設備投資額

連結

(単位：百万円)

	2023/3期	2024/3期	増減額	2024/3期 予想
減価償却実施額	2,466	2,233	-232	4,447
設備投資額	770	849	79	2,806

株式会社マングム(単体)

(単位：百万円)

	2023/3期	2024/3期	増減額
減価償却実施額	1,609	1,401	-207
設備投資額	297	314	17

※設備投資額には無形固定資産を含む

PT Mandom Indonesia Tbk

現地通貨

(単位：百万Rp.)

	2023/3期	2024/3期	増減額	増減率
売上高	925,416	982,114	56,698	+6.1%
売上原価	742,462	810,971	68,509	+9.2%
(原価率)	80.2%	82.6%	+2.3P	-
営業利益	-11,741	-32,991	-21,249	-
四半期純利益	-6,412	-11,858	-5,445	-

円換算

(単位：百万円)

	2023/3期	2024/3期	増減額	増減率
売上高	7,866	8,839	972	+12.4%
売上原価	6,310	7,298	987	+15.7%
原価率	80.2%	82.6%	+2.3P	-
営業利益	-99	-296	-197	-
四半期純利益	-54	-106	-52	-

Rp.1= ¥0.0085 Rp.1= ¥0.0090

※2024/3期 計画レート Rp.1= ¥0.0084

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

※記載金額は単位未満を切り捨てております

**BE ANYTHING,
BE EVERYTHING.**



mandom